



2015年4月15日
公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
イオン株式会社

世界中から3万人の青少年が山口に集う「第23回世界スカウトジャンボリー」に向けて **4月19日（日）「全国 ORIZURU キャラバン」出発式を開催** 平和の祈りをのせ、イオンモール幕張新都心を皮切りに47都道府県を横断

イオンは、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟（以下、ボーイスカウト日本連盟）に協力し、今年7月に山口県で開催される「第23回世界スカウトジャンボリー」（以下、23WSJ）に向けて、全国46のイオングループ店舗において「全国 ORIZURU キャラバン」を開催します。

23WSJは、4年に1度開かれる世界スカウト機構主催の大会で、日本開催の今回は山口市阿知須・きらら浜に世界162の国と地域から約3万人の青少年が集い、キャンプ生活を通じて世界の仲間と体験を共有します。23WSJのテーマである「和」の言葉が持つ「調和」や「平和」、「ハーモニー」や「協調性」といった意味をベースに、伝統と最新技術の融合、平和への取り組み、環境や防災について学べる日本ならではのプログラムを予定しています。基本理念に「平和」「人間」「地域」を掲げ、長年環境活動に取り組んできたイオンは、23WSJの開催意図に賛同し、プラチナスポンサーとして、全面的に協力しています。

このたび実施する「全国 ORIZURU キャラバン」は、イオングループの商業施設を中心に全国47都道府県で順次開催し、平和への祈りを込めて折鶴をつくるコーナーや、ボーイスカウト活動を体験できるコーナー、23WSJの紹介、ボーイスカウトアンバサダーである宇宙飛行士・野口聡一氏からのメッセージの展示など、子どもたちの知見を広げるさまざまな企画を予定しています。イオンからは、23WSJのオフィシャルチーフとして選定され、本大会での起用は世界初となる「国際フェアトレード認証コットン（セネガル産）」のネッカチーフの展示、また、イオンのフェアトレード商品についても理解を深められるコーナーをお届けします。

当キャラバン開始にあたり、出発日、ならびに23WSJ開催100日前である4月19日（日）、イオンモール幕張新都心において出発式を開催します。出発式には、全国を巡るキャラバン旗の披露や、原爆の子の像のモデルになった佐々木貞子さんの甥・佐々木祐慈氏による折鶴に込められた意味についてのお話・歌の披露、セネガル産ネッカチーフの説明・展示など、23WSJのテーマに沿った企画を多数予定しています。

全国のイオン店舗周遊を通じて、23WSJへの注目が高まるとともに、当キャラバンが、子どもたちにとって社会への関心を深めるきっかけとなることを願っています

イオンはこれからも、青少年の健全な育成の一助となる取り組みを実施するとともに、23WSJの成功に向けて、グループ一丸となって協力してまいります。

【「全国 ORIZURU キャラバン」出発式について】

日 時：2015年4月19日（日） 13:30～14:00

会 場：イオンモール幕張新都心グランドモール グランドスクエア
（千葉県千葉市美浜区豊砂1-1）

出席者：第23回世界スカウトジャンボリー一参加スカウト
ちよるる（山口県PR本部長・23WSJオフィシャルサポーター）
佐々木 祐慈 氏（原爆の子の像のモデル 佐々木 貞子さんの甥）

内 容：①ボーイスカウトと世界スカウトジャンボリーについて紹介
②キャラバン旗の披露
③イオンより セネガル産公式ネッカチーフ及びフェアトレードの取り組み紹介
④佐々木祐慈氏による折り鶴の話と歌の披露



【公益財団法人ボーイスカウト日本連盟について】

ボーイスカウトは世界162の国と地域、3,600万人に広がった世界最大級の青少年運動です。1907年にイギリスで誕生し、日本では、1922年(大正11年)に日本連盟が創設されました。現在では、全国47都道府県に県連盟が設置され、日本連盟と一帯となって青少年の社会教育を全国で推進しています。

【第23回世界スカウトジャンボリーについて】

世界スカウトジャンボリーは、4年に一度、さまざまな国を開催地として世界中からスカウトが集まる世界最大級の国際キャンプ大会です。2015年に山口市阿知須・さくら浜で開催される本大会には、世界162の国と地域からやってきたスカウトたちは日本各地に分散してホームステイや日本探訪を行います。日本の最先端の科学技術や日本の伝統芸能、魅力的な文化、国際的な協働や連携などを体験し、参加者たちは自分との関連性、恩恵、課題などについて認識を深めていきます。日本では1971年以来、44年ぶり2度目の開催となります。